

学校だより

第 1 1 号

椎 の 木

令和 4 年 9 月 5 日発行



流山市立東部中学校
生徒数 554名

アンケートのご協力ありがとうございました

7月にお願ひした学校評価アンケートについて、集計結果をお知らせします。生徒や保護者皆様、教職員のアンケートについて数値的なものは右表の通りです。各評価項目は、生徒、保護者、教職員とも同様の内容にしました。(右表は、生徒用のものを掲載)

評価項目については、大きく「学習面」「生活面」「その他」の3つに分けられると考えております。また、自由記述として、生徒の皆さんには、「東部中の自慢できるところ」、保護者の皆様には、「学校全体を見て、お気付きの点について」ご記入いただきました。東部中について、様々な角度からたくさんのご意見をいただき感謝しております。

<学習面>

- ・授業に主体的に取り組んでいると考えている生徒と教職員が8割を超している。保護者の意見としては、さらに積極的に授業に取り組んでほしいという願いが数値に出ているように思います。
- ・授業に関して、授業が工夫されていると感じる生徒が9割を超している。さらに生徒にとってわかりやすい授業になるよう工夫していきたい。
- ・家庭学習について、計画的な学習が課題となっている。日々の学習とともに見通しを持った学習が望まれる。
- ・タブレット活用による学習の充実度については、あまり高くないという結果が出ている。昨年度途中からタブレットの家庭への持ち帰りが始まっているが、その活用について、より充実させていく必要がある。

<生活面>

- ・「学校へ行くのが楽しい」という項目で8割以上の生徒が「楽しい」と答えている一方、2割弱の生徒がそう感じていないという結果が出ており、様々な機会を捉えてその要因を解決していく手立てを講じていくようにしなければならないと考えます。
- ・生徒会活動の重点の1つである「あいさつ」や他への思いやりについて、概ね良好な結果が出ている。「あいさつ」については、年間を通じて意識して活動しており、さらなる高みを期待したい。
- ・自己肯定感について、3割の生徒が自分に自信を持てずにいる傾向が見られる。家庭や学校生活のあらゆる場面で様々な経験を通して、自信をつけられるようにしていきたい。

<その他>

- ・部活動や学校の様々な行事について、多くの生徒が充実感を得ているが、1割強の生徒がそう感じていない結果が出ている。2学期からの行事等をさらに充実したものにしていきたい。
- ・「相談のしやすさ」について、教職員と生徒、保護者では違いが見られた。この結果を謙虚に受け止め、生徒にとって、より相談しやすい環境作りを進めて行く必要がある。
- ・情報発信について、特にHPについての記述が多く見られた。改善したい。